

東海経済レポート

（2021年2月）

～東海経済は緊急事態宣言延長で先行き不透明感の強い状況が続く～

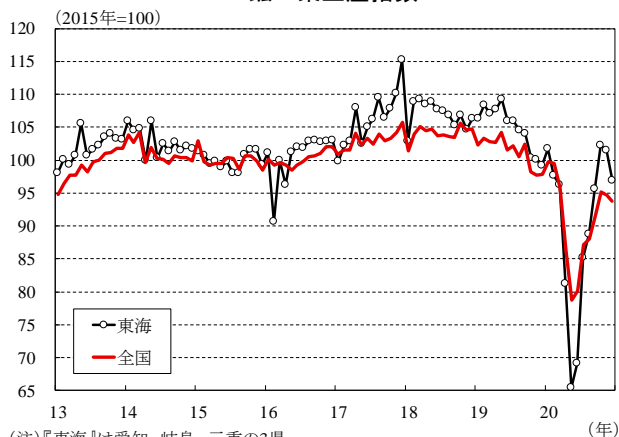
【足元の経済情勢】

- ◇ 東海経済は、基調としては持ち直しを続けているものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大を受け足元で回復の動きは足踏みしている。生産はコロナ禍前の水準を取り戻したものの昨年末にかけて弱含み、個人消費や雇用も回復の動きが弱まっている。2月には緊急事態宣言の期限が延長されており、家計マインドの悪化が目立つ。
- ◇ 新規感染者数はピークアウトしており景気の下振れは一時的に止まろうが、感染症への警戒や医療逼迫への懸念は当面継続するため、その後の回復ペースは緩やかなものとなり、コロナ禍前の経済活動水準への回復には暫く時間を要する見通しである。
- 生産は、昨年12月の鉱工業生産指数が前月比▲4.5%と2ヵ月連続で低下したが、水準は96.9とコロナ禍直前の昨年3月（96.3）並みを維持している。品目別では、電子部品・デバイスが同+9.1%と3ヵ月ぶりにプラス転化したものの、当地域主力の輸送機械が同▲7.9%（2ヵ月連続で低下）、電気機械が同▲3.3%（6ヵ月ぶりの低下）、生産用機械は同▲8.5%（4ヵ月ぶりの低下）とそれぞれ低下した。
- 設備投資は、昨年7-9月期の大企業の投資額は前年比+6.3%と2四半期連続で増加した（前月報告分から不変）。金属工作機械の昨年12月の国内受注額（当地域主要8社）は前年比▲3.5%と減少が続くも、自動車工業からの受注が25ヵ月ぶりに前年を上回ったこと等から、マイナス幅は縮小した。
- 1月の輸出額（円ベース）は前年比+4.1%と5ヵ月連続で増加したが、増加率は前月から縮小した。中国向けが同+36.2%、EU向けが同+2.8%と夫々増加した一方、米国向けが同▲4.0%と5ヵ月ぶりに減少した。品目別では、自動車部品、一般機械は小幅に増加したものの、当地域主力の自動車が同▲5.1%と5ヵ月ぶりに減少した。
- 昨年12月の有効求人倍率は、愛知・岐阜・三重の3県で上昇した。但し、愛知県は1.04倍と6ヵ月連続で全国（1.06倍）を下回っている。
- 個人消費関連では、昨年12月の小売主要3業態の販売額は、スーパーが前年比+4.5%と増加した一方、百貨店は同▲13.0%、コンビニは同▲4.0%と減少した。
- 昨年12月の住宅着工戸数は年率換算7.2万户、前年比▲11.1%と8ヵ月連続で前年割れとなった。持家は同+2.3%と9ヵ月ぶりにプラス転化した一方、貸家（同▲15.1%）、分譲戸建て（同▲23.7%）、分譲マンション（同▲18.8%）は減少した。
- 1月の景気ウォッチャー調査の現状判断DIは、31.8（前月比▲6.7ポイント）と、3ヵ月連続で悪化した。

【生産①】

12月の鉱工業生産指数は前月比▲4.5%と2ヵ月連続で低下。水準は96.9と2020年3月(96.3)並み。

鉱工業生産指数

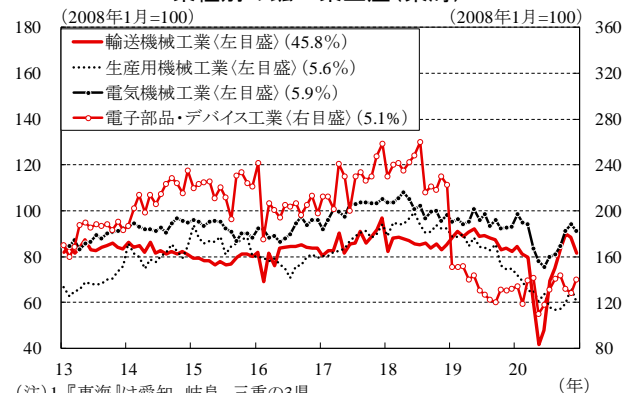


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【生産②主要品目別】

電子部品・デバイス、輸送用機械が同▲7.9%などその他主要品目は低下。

業種別の鉱工業生産(東海)

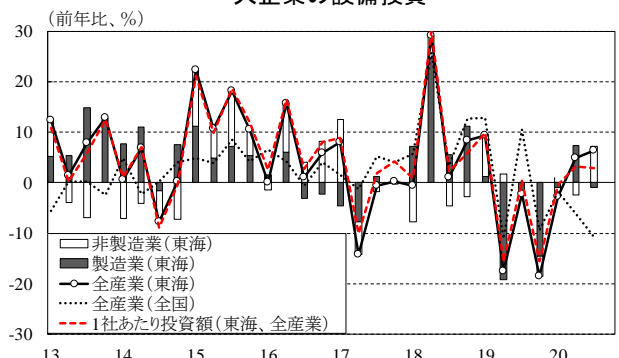


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
2.()内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成27年基準。中部経済産業局算出)
(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【設備投資】

7-9月期の大企業の設備投資は、非製造業で増加し、前年比+6.3%と2四半期連続でプラス。

大企業の設備投資

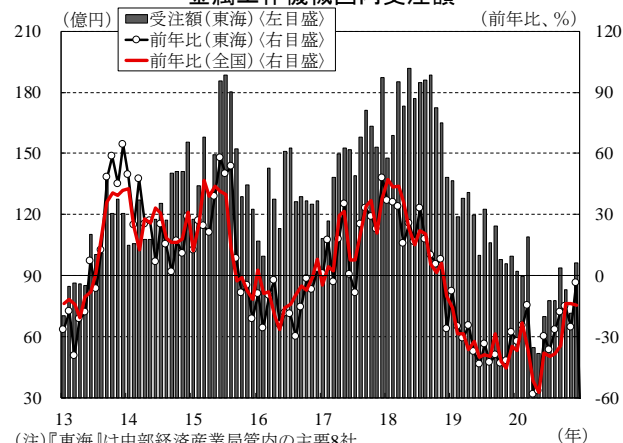


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。
2.資本金10億円以上の企業を対象。
3.設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。
4.1社あたり投資額は設備投資額合計を回答法人数で除して算出
(資料)東海財務局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【金属工作機械受注(国内)】

12月の金属工作機械の国内受注額は前年比▲3.5%とマイナス幅縮小。自動車工業からの受注が増加。

金属工作機械国内受注額

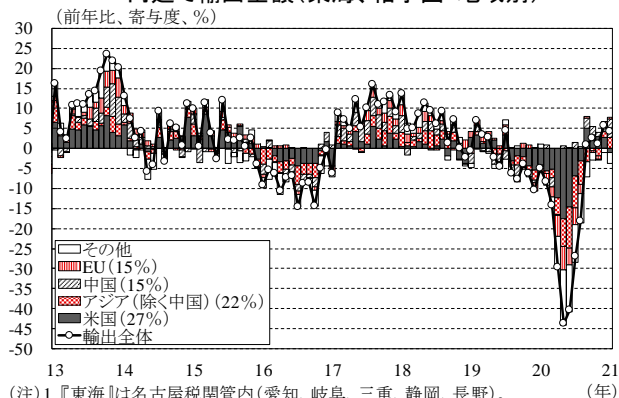


(注)『東海』は中部経済産業局管内の主要8社。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【輸出】

1月の輸出額(円ベース)は前年比+4.1%と5ヵ月連続で増加。米国向けは減少も中・欧向けは増加。

円建て輸出金額(東海、相手国・地域別)

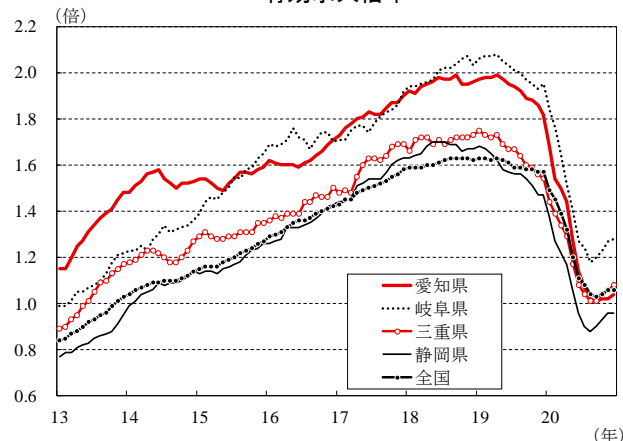


(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。
2.()内の数値は2019年輸出総額に占めるシェア。
3.EUの増減率は加盟国の増減を踏まえて算出。
(資料)名古屋税関統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【雇用】

12月の有効求人倍率は、愛知・岐阜・三重の3県で上昇。但し、愛知県は1.04倍と全国(1.06倍)を下回る。

有効求人倍率

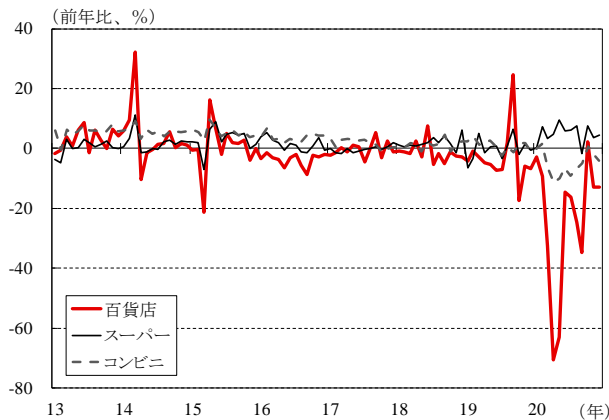


(資料)厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【個人消費（小売主要3業態の販売額）】

12月の販売額は、スーパーが前年比+4.5%の一方、百貨店が同▲13.0%、コンビニが同▲4.0%と減少。

小売主要3業態の販売動向(中部)

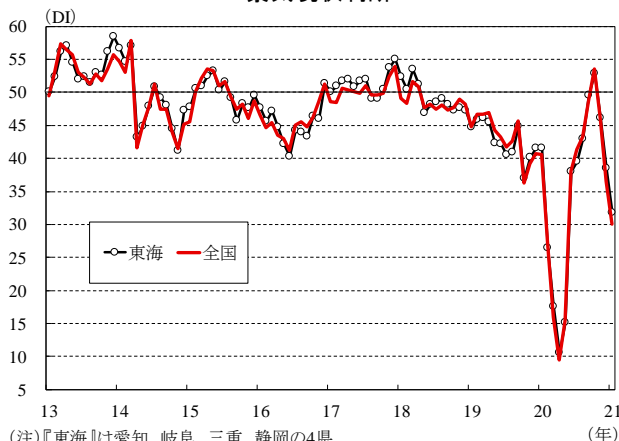


(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【景気ウォッチャー調査】

1月の現状判断DIは31.8(前月比▲6.7ポイント)と3ヵ月連続で悪化。

景気現状判断DI



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。
(資料)内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【原油価格】

WTIはバイデン政権の経済対策への期待や大寒波による需給両面への影響から60ドル台に上昇。

原油価格

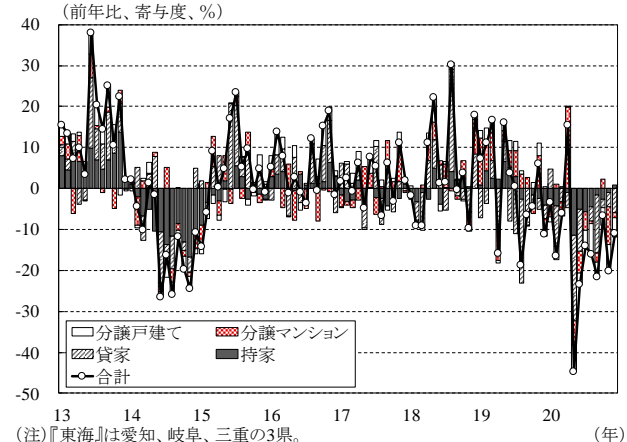


(注)『原油価格』はWTI先物。
(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

【住宅投資】

12月の住宅着工戸数は前年比▲11.1%と8ヵ月連続で前年割れ。持家のみ同+2.3%と増加。

新設住宅着工戸数(東海)

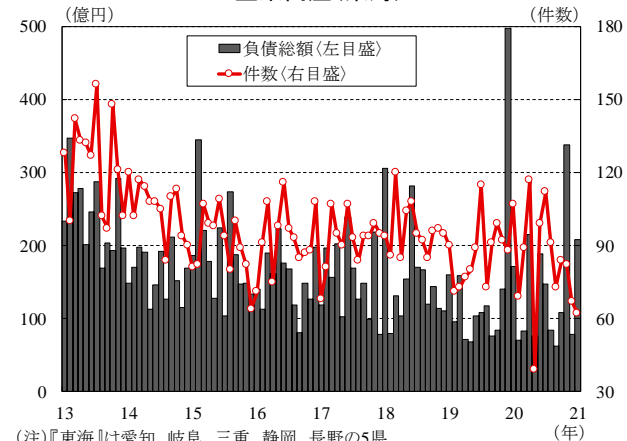


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)国土交通省東海より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【倒産件数】

1月の企業倒産件数は62件(前年比▲42.1%)と減少、負債総額は207億円(同+21.1%)と増加。

企業倒産(東海)

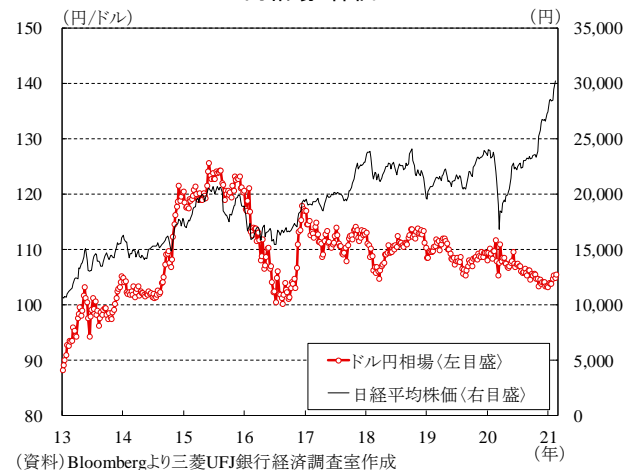


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。
(資料)東京商工リサーチ資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【円相場・株価】

日経平均株価は内外経済の回復期待や企業業績復調を受け3万円を突破。為替は1ドル105円台前後。

円相場・株価



(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱 UFJ 銀行 経済調査室（名古屋）

福田 洋子 youko_2_fukuda@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。